

備前市事務事業評価表

事務事業名	老人クラブ助成事業			コード	02-01-04-13
				担当課・係	福祉事務所 高齢者福祉係
				担当者	藤森仁美
				電話	64-1827
事業実施期間					
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり			
	中項目(基本施策)	やさしさあふれるまちづくり			
	小項目(施策)	高齢者福祉			

事業について	
目的 (何のために)	地域の高齢者が生活を豊かにする楽しい活動や地域を豊かにする社会活動を目的に組織している老人クラブに対し、その育成・支援を行う。
対象 (誰・何を対象に)	老人クラブ会員
内容	老人クラブの活動に対し補助金を交付する。 老人クラブ連合会の事務局を担当し、評議員会や役員会の開催、文化活動として老人福祉大学（年5回）や会員相互の親睦、福祉の充実等の目的にグランドゴルフ大会の開催などを行っている

事業の結果								
実施項目	17年度		18年度					
	回数	など (単位)	回数	など (単位)	回数	など (単位)		
老人クラブ会員数	6,681	人	6,424	人				
老人クラブ数	106	クラブ	103	クラブ				
事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	6,118	国庫補助金等	4,292	直接事業費	7,612	国庫補助金等	4,263
	人件費	5,260	委託費負担		人件費	5,600	委託費負担	
			市債				市債	
	合計	11,378	一般財源等	7,086	合計	13,212	一般財源等	8,949
								0

必要人員	0.65	人	0.60	人	
結果指標名	老人クラブ会員数		老人クラブ会員数		
結果指標量	6,681		6,424		
単位	人		人		
対前年比	-		96.15%		0.00%
活動にかかるコスト	11,378,000		13,212,000		円
単位当たりコスト	1,703		2,057		円
結果指標名	老人クラブ数		老人クラブ数		
結果指標量	106		103		
単位	クラブ		クラブ		
対前年比	-		97.17%		0.00%
活動にかかるコスト	11,378,000		13,212,000		円
単位当たりコスト	107,340		128,272		円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	高齢者が日常的に健康づくりに取り組んだり、社会活動に積極的に参加できるようにする。		
成果指標名	老人クラブ加入率	式又は説明	会員数 / 60歳以上人口
	17年度	18年度	
成果指標量	47	45	
対前年比	-	96.31%	0.00%
到達目標値	50	到達目標年度	平成22年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等： 岡山県老人福祉費（在宅）補助金交付要綱	妥当性評価<A~E> C 課題認識
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	単位老人クラブは高齢者の自主組織として活動しており、社会奉仕活動や健康づくり活動を行い元気な高齢者を目指し、積極的な活動をしている。老人クラブ連合会の事務局については、社会福祉協議会への移管を検討する。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> C 課題認識
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	老人福祉大学については、適正な個人負担を徴収し事業実施を行っている。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> C 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	クラブ数及び会員数は減少傾向にあるため、会員拡大に向けて、加入促進対策を図る必要がある。活動について、会員自ら企画・立案し実施する必要がある。
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況		説明 クラブ数及び会員数は減少傾向にある。社会奉仕活動など一定の目的を持った老人クラブの育成・援助を図ることは重要である。老人福祉大学は平成19年度から、会員が企画・立案し事業実施をする。	
<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了		
目標値	結果指標量 6,500		結果指標量 103
	成果指標量 46		

総合評価	老人クラブは、市内最大の組織であり、高齢者の健康づくり、社会奉仕活動を通じて、明るく活力ある高齢社会を形成するため、今後も事業を継続していく必要がある。しかし、会員数が減少している中で、老人クラブの活性化について検討するとともに、より効果的・効率的な事業展開を行う必要がある。	評価区分<A~E> C
------	--	-------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	--	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項	評価の視点 改善内容 改善時期 改善により期待される効果		
妥当性	老人クラブ連合会の運営について社会福祉協議会への移管を検討する。		県・市連共にほとんどが、社協が事務局を担当しているため、連携がとりやすい。
有効性	会員拡大に向けて加入促進対策を図る		高齢者の介護予防が図られる。